

「ご挨拶」

牧師 古川富也

(日本自由メソヂスト教団大阪東南キリスト教会)

「ご挨拶」

牧師 崔春子

(在日大韓基督教会関西地方会社会部部長・高槻伝道所)

「主の山に備えあり」



この冬の寒さの中、野宿者の方々はどのように生活しておられるのかと思ひながら風呂の中で考えます。最近は風呂に入ると決まってお祈りするのです。「神さま、野宿者労働者の方々はこの寒空の下で風呂にも入

れず、屋根の下で温かい布団にくるまって寝ることもできません。それなのにこの私は気持ちの良い風呂をいただいております。申し訳ありません。為政者に神の愛を与えて、一日も早く、気持ちの良い風呂に入れますように。」

私が初めて釜ヶ崎と出会ったのは1963年にドイツ・ブラウンシュヴァイク福音ルーテル領邦教会から派遣されたE・ストローム宣教師が来日して「希望の家」を立ち上げたときでした。私たちの教会でもお話していただき、釜ヶ崎の実情とその働きを知ったのでした。夜回りも手伝ってみて、野宿者労働者の方々が家庭を捨てなければならなかった理由も少しずつ知ったのでした。そんな中で来日されて間もない金鐘賢牧師夫妻との出会いがあったのです。日本語をよく話せる方なのに、私からもっと学びたいとのことで、忙しい中でも毎週熱心に紙芝居を使いながらの学びを続けられました。その理由は何よりも、釜ヶ崎の人々に愛の手を差し伸べるためにあったのです。先のストローム先生と金鐘賢牧師夫妻に共通するのは、日本人で無い方々が日本人のために善き隣り人となってくださったことでした。浪速教会「愛の家」も今では立派な会堂と協力者が与えられています。今のうちに金鐘賢牧師の後継者が準備されることです。この私も今年87歳となりましたが、この3月に当教会員の男性が神学校4年間を終了して牧師となりました。現在65歳です。神さまは必要をすべて準備して下さるお方です。「主の山に備えあり」のみ言葉を信じましょう。Ω



「最も貧しく小さくされた者への「愛の家」の奉仕」

在日大韓基督教会関西地方会の一つの誇りは、この豊かな日本社会の大阪で、「愛の家」が生まれたことです。特に大阪でも最も貧しい地域が、愛隣地区と呼ばれてきた釜ヶ崎です。この場(トポス)を求めて、全国からいろいろ

な問題を抱えた人々が住み着き、家のない人々はホームレスとなってその日暮らしを余儀なくされています。そのような大阪市のど真ん中に、浪速教会は「愛の家」を開所し奉仕しています。

祈りとともに始められた「愛の家」によって、どれほど多くの人々が救われたことかと思う反面、この大切な働きのためにどれほど多くの犠牲を強いてこられたか、金鐘賢牧師ご夫妻のご苦勞を思うと頭が下がります。

実は私もこの西成、愛隣地区に近い出城というところにあつた「めぐみ保育園」で保母をしていました。当時、この保育園の園長は益谷牧師でした。この保育園にドイツから来られていた宣教師のストロームさんは、いつも朝食をとっておられたことが懐かしく思い出されます。その後、ストロームさんは、愛隣地区に近いところで小さな一軒家を借り、貧しい家庭の小さな子どもたちを預かり、世話をし、育てていました。その後、そのホームは現在、釜ヶ崎のど真ん中にある「希望の家」となっています。

一人の宣教師によって始められた奉仕が大きな実りとなって、多くの人々の救いとなったと思います。まさに愛の業でした。

私たちの「愛の家」もそうです。日本という異教と異文化の社会のみならず、最も貧しく小さくされた者への愛の奉仕が、この浪速教会の「愛の家」です。この「愛の家」は、今は多くの若者たちが内外問わず国境を越えて、

この働きに参与しています。これからは、この「愛の家」が日本のみならず、韓国やアジアの人々、そして世界中の人々を結ぶ「愛のかけ橋」となって、平和を築く一つの礎となって頂きたいと心から願っています。



宣教チームの訪問



今年も1月の初めから2月末にかけて毎年恒例の韓国宣教チームが来教しました。大邱中誠教会宣教チーム(14名)、ダビデの世代宣教会中高生チーム(7名)の2チームです。毎年、チームは「愛の家」の活動を心に留め、来訪する度に日本の最も弱く、貧しい人々を愛し宣教や奉仕活動をしてくれます。又、チ



ームは何ヶ月も前から野宿者や私達、日本の信者の為に讚美・ダンス・聖劇を準備し、失業者・野宿者に対して集会を通して伝道を行ってしてくれます。野宿者達の為に、深い愛と強い信仰心を持って奉仕していただけますので、集会に参加した人々がみな恵みに満たされ、喜びと感動を持って帰られます。チームの日本への情熱的な宣教活動によって、イエス様を信じる人々が多く現われますようにと私達信徒一同、神様に切にお祈りしています。

木曜伝道集会・日曜伝道集会

木曜・日曜集会には100名近くの失業・野宿者の方々が来られます。木曜集会では午前9:00から礼拝が始まるまでは支援者から頂いたコーヒーを飲みながらキリスト教関係のビデオ鑑賞やシャワーを使用したりしてリラックスされています。賛美の時間になると姜貞淑師母、岡田兄弟(木曜担当)と平野姉妹(日曜担当)の「お帰りなさい」という挨拶から始まり、三人の素晴らしい歌声の導きにより賛美を合唱し、礼拝へと進んでいきます。礼拝は毎週、各先生方が説教の奉仕をして下さいます。奉仕して下さる先生方は当教会の金鐘賢牧師、申容燮副牧師を始め朴珍烈牧師(平野教会名誉牧師)、朴栄子牧師(豊中第一復興教会)、金景淑牧師(ホサナ教会)、全聖三牧師(布施教会)の先生方です。多くの兄弟達が礼拝を通して各先生方の恵み溢れる御言葉を聞き、感動を覚えイエス様を信じる様に祈ります。そして、礼拝後は支援者から頂いた食材で調理された食事が配布され、参加者が共に交わりながら食事しておられます。兄弟達が帰る時に「行ってらっしゃい」と声をかけると「有難う御座いました。」と返事が返ってきます。これも支援して下さいました皆様方へのお礼だと私達は思っています。



金曜炊き出し会・衣類提供会

毎週、金曜日には野外(西成公園)で、ジャンボお握りと味噌汁を配布する炊き出し会を行っています。その日は早朝より準備に掛かり、お米45kg程を使用し、ジャンボお握りを毎回250個程、奉仕者の皆様と共に作ります。お握りを作る時は支援者の皆様方の1人1人を覚えお祈りしてから始め、皆様方に感謝しながらお握りを作っています。



そして、作業終了後は全員で賛美歌を歌い、炊き出しの場所へ出向きます。又、炊き出しと同時に皆様から頂いた衣類を配布する週もあります。今年のように寒さが厳しい時などは、自分の求めたい物を手に入れて満面の笑顔で私達に御礼を言ってくれます。本当に支援者の方々に心から感謝します。これからも暖かいご支援を御願い致します。



洗礼者教育

今年も3月から4月のイースターまでの約1ヶ月強の期間で「洗礼者教育」が毎週金曜日の午前10時半より行われています。今回は1人の兄弟が洗礼を受ける予定です。この兄弟は『洗礼を受け、神の子になりたい』という強い意志と希望を持って教育に望まれています。毎週金曜日の教育の日は欠席する事無く、1時間の講義を真剣に受講されています。受講している兄弟の為に毎日の朝、夜とお祈りしています。

『1人の兄弟が洗礼を受け、晴れて神の子となる様』にと・・・・・・・・

クリスマス祝賀会・キャンドル礼拝、洗礼式

昨年のクリスマス主日礼拝では、失業者・野宿者の方々と共に礼拝をささげました。又、この日の為に一生懸命練習した教会学校の幼児達(2~8才)が聖劇・歌・ダンス・楽器演奏等を発表してくれました。発表会では天使の様な幼児達が一生懸命演じている姿に感動と恵みを受け、失業者・野宿者の方々の中には目を潤ませている人もおられました。又、祝賀会では、幼児達とキャンドル礼拝を一緒に行い、幼児達の両親や地域の人達と共に立食とゲームで交わりながらイエス様のお誕生をお祝いしました。

昨年のクリスマス洗礼式では 伊藤康元兄弟、谷口進兄弟、西田徳昌兄弟、山本尊司兄弟4人の兄弟達が洗礼を受け、金世穂くんが幼児洗礼を受け、神の子となりました。いつもは、洗礼を自ら受ける決心がつかず、迷う人々が多い野宿者の中で、今回は自ら「洗礼を受けます」と強い意志を持って、約1ヶ月の洗礼教育を済し、洗礼を受けられました。晴れて洗礼を受け、新しい信仰の旅立ちとなった4人は厳粛な式の中、緊張した面持ちで喜びと希望に満ち清々しさに溢れておられました。私達一同も洗礼を受けた兄弟達がこれからの信仰生活を一歩一歩と歩んで行く様に切に祈っています。



越冬対策夜回り

今回も路上生活をしている人達の為の夜間パトロールを昨年の11月から今年の3月末まで行いました。このパトロールは毎週金曜の夜、8時半からお握り・味噌汁、そして皆様から支援していただいた毛布・カイロ・衣類等を車に乗せ、所定の場所に行っています。配布すると「ありがとう、助かるよ。」と、暗く沈んでいた顔が一変して明るい顔になり、弾んだ感謝の音が返ってきます。また時には寝袋を配って路上生活者を支援するボランティア団体と連携して寝袋も配ります。そして、パトロール時には、健康状態のチェックもしつつ、どうしても路上でその晩に眠れない程、衰弱している兄弟がいたら福祉相談をし「愛の家」の宿舎を提供する場合も有ります。尚、配布している毛布・カイロ・衣類等は全国の多くの支援者から送って頂いた品物です、大変感謝致しております。これからも、暖かい御支援をお願いします。



シオン合唱団コンサート

今年も昨年に続き、5回目となるシオン合唱団のコンサートが3月26日(木)行われました。このシオン合唱団は野宿者・失業者の皆さまに伝道集会を通してイエス様の愛を賛美によって伝える為、毎年訪問して下さいます。当日は、通常の伝道集会ではなく、合唱団の美しい歌声をメインに、讃美歌から日本の童謡まで数多くの曲が唄われました。そして、礼拝堂には美しい歌声がいっぱいに響き渡っていました。最後の方では、参加した失業者の皆様と一緒に「故郷」を始め「春の小川」等、日本の童謡を皆と一緒に合唱し、素晴らしい伝道集会となりました。尚、当日は全聖三牧師(布施教会)がメッセージを語って下さいました。布施教会の青年チーム姉妹4人も訪問し素晴らしいコンサートと説教によって参加された野宿者がイエス様の愛と恵みを受け、一人でも多く「イエス・キリスト」を信じる事が出来るように合唱団の皆様と共に祈りしています。



奉仕者の声

『 天のお父さま 』

小寺 博 執事



ありのままを話します。私は昭和 17 年生まれです。生みの両親を知りません。訳あって生まれて 2

週間で小寺家へ養子に行かされました。育ちは神戸の須磨です。そして育ての父親は私が幼い頃に酒に酔っぱらって郵便自動車にはねられて半身不随になりました。おふくろは朝早くから夜中まで皿洗いや掃除の仕事をしていました。学校は小学校と中学校に 2 つ下の妹と電車に乗って通いました。私は小学 5 年生で新聞配達を始めました。でも、米屋のおやじが「新聞配達でバイトするんやったらうちを手伝ってくれ。」といって、小学5年から 17 年間手伝わせてもらいました。おやじは戦争で背中を弾で抜かれてしまって重労働ができなかったんです。だから米ひきや荷運びは私がやりました。小学生から始めた野球は米屋で働きながらよく行ったものです。時々おふくろが心配して犬と一緒に迎えに来てました。又家もよく変わりました。近所付き合いに苦勞して引っ越したり、両親が自ら建てた家が水害で2回も流されたり、立ち退きとなり市営住宅に移ったり。今の浪速教会「愛の家」の福祉部屋で10軒目です。

私は仕事は真面目に務めました。米屋の後は、植木屋の手伝いやゴム会社の手伝いもしました。ある時、神戸のひよどり台で山を切り開いて街を建設していく仕事をしていましたが、その仕事も終盤に差し掛かり、次の仕事を求めて新開地へ行きました。そしたら三菱重工の下請け会社の人にそこで拾ってもらい、38～66歳の定年までずっと

三菱重工の潜水艦作りをやってきました。その下請け会社は闇会社みたいなもので年金を掛けていませんでした。定年間近で会社に監査が入り、掛け捨てで払わざるをえなくなりましたが当然、お金は一銭も返ってきませんでした。

体は健康で7年間無欠勤で働き、社長に「自分で健康管理をよくするね」と喜ばれました。しかし、痛風にかかり足がパンパンに腫れて歩けなくなりました。今でも食生活で油断するとすぐ痛風が出てきます。

定年で年金も仕事も無かったので、大阪へ来て路上生活を始めました。「そんな所で寝ていたら体を壊すぞ」と誰かが言ってくれ、シェルターで寝る事ができると教えてくれました。また、ご飯もあちこちの教会を回りながら食べさせて貰いました。御言葉と賛美に触れたのはその時が初めてでした。最初は半信半疑でした。昔、須磨の高等学校の隣に《ヨハネの修道院》という所に3回ほど



行ったことがあり、チョコレート等を貰ったり、夏にはセミ捕りに行ったりしました。でも、御言葉や賛美には触れませんでした。浪速教会に行く様になってからは毎週日曜日は必ず通いました。路上生活を始めた数か月後の年末、南港に行く準備をしていた所を金先生に生活保護受給の誘いを受けて、今に至るわけです。

洗礼を受けたきっかけは、まず、浪速教会の牧師先生に拾われてお世話になったという思いがどこまでもあるからです。その恩があるのに裏切るとかは考えられません。『報いなければならぬ』と思い、果たして自分がどこまでいけるかどうか分からないけれど、その思いでいっぱいです。66歳で洗礼を受け、今年で5年になります。私の好きな御言葉は「天のお父さま」です。

洗礼を受けたきっかけは、まず、浪速教会の牧師先生に拾われてお世話になったという思いがどこまでもあるからです。その恩があるのに裏切るとかは考えられません。『報いなければならぬ』と思い、果たして自分がどこまでいけるかどうか分からないけれど、その思いでいっぱいです。66歳で洗礼を受け、今年で5年になります。私の好きな御言葉は「天のお父さま」です。

ページ6につづく…

奉仕者の声

『主と共に』

白石 亮 聖徒

主が共におられる人生とそうでない人生を歩む時、主が共におられる人生には喜びと平安があり、そうでない人生には希望がなくなただけ空しさしか残らないと思います。僕は、浪速教会で洗礼を受けて今年で6年目になりました。僕は、早天祈祷会で6年間の生活を振り返り祈る時、信仰の旅路は茨の道で、汚れた霊に取りつかれたゲラサ人のように、神様を父と呼ぶ事ができず、一人自ら心の中にある嘆きや苦しみや痛みをあるがまま神様に心を開き祈る事ができず、長きにわたり主が共にいる事を僕自身理解できず、汚れた霊が心の中に居座り否定的な考え方に捕らわれて、うつ病で苦しんできました。特に酷かったのが、福祉(生活保護)が打ち切られ生きる事に絶望し、自殺を図り死ぬ事ばかり考えていた時でした。しかし、うつ病が酷くなり生きる意欲を失っていた時も主は共にいて、汚れた霊の中に光る物を置いてくださいました。そして詩編 118 章の「死ぬ事なく生き長らえて主の御業を語り伝えよう」という御言葉により、神様が将来うつ病から救われた証しをしながら弱者の味方として喜びも悲しみも共に共有し、滅びゆく魂を救いへ導く伝道の使命を果たす尊い神の器として用いようとされている僕への神様の計画を知りました。神様の計画が僕の心の支えとなりました。しかし僕にとって暴力という罪により、神様からの厳しい裁きを受け釜ヶ崎の地で日々自ら犯した罪に向き合わないといけない時が、一番辛い時でした。しかし5か月間に至る自らの罪に向き合わないといけないその苦難の期間を通して、神様が共におられると確信する事ができました。また、神様が共にいて下さったからこそ厳しい裁きを

受けての罪
に向き合う5
か月の苦難
の日々を乗り
越えられ、
苦難を乗り越
えた先に
罪赦された
救いの恵み

を神様は与えて下さいました。現在の僕は、教会で寝泊まりしていて、収入も月末のアルバイトで得るわずかなお金しかなく野宿生活をしている状況です。しかし、僕の心の中には主が共におられる確信があり、うつ病からも一日一日回復へ向かい、神様に対する感謝の想いであふれんばかりです。神様は僕自身が、一歩ずつ与えられる側から与える側へと成長していく事を望んでおられ、春を迎え新たな旅立ちの



時神の子として自立し、神様を信じていない人々に分け隔てなく愛を分け与える事ができるように仕事を神様に与えて下さいと祈り求めています。この世において神の子として歩む御国への旅はまだ続きます。またその旅は決して平坦なものではなく山あり谷ありだけど、たとえ苦難

にあいつまづき倒れても、傷つき倒れた弱い僕自身を主が支え強めて下さると信じます。イザヤ 26 章の中にある「どこまでも主に信頼せよ、主こそはとこしえの岩」という御言葉を大切にし、主が共にいて下さる喜びを胸に、主に信頼し聖なる花嫁となるため主にすべて捧げ生きていきます。

第18回「愛の家」運営委員会のご案内

- ◇ 日時：2015年4月6日(月) 午後2時
- ◇ 場所：浪速教会堂
- ◇ 運営委員
森田幸男、李 清一、伊藤友彦、森 優紀慶(横山辰哉)
森 元孝、金 安弘、朴 栄子、金 武士、全 聖三
崔 春子、白野聖香、梁 守延、大木正典、金 鐘賢
金 鍾権、朱 京中
- ◇ 案 件
1. 役員改選
2. 2014年度決算、2015年度予算案
3. 事業報告及び事業計画

【特集】金鐘賢牧師京都、兵庫地区連合集会で説教、講演

● 日本基督教団京都教区と在日大韓・京都地区教会

「第33回京都韓日合同礼拝」—2014年10月5日(主日) 午後3:00~4:30、在日大韓・京都教会にて行われた。今回の合同礼拝では、説教者として金鐘賢牧師が招かれた。メッセージを通して浪速教会「愛の家」のホームレス支援活動を紹介し貧しい隣人と共に生きる事の大切さと喜びを述べ参加者の皆さんから熱い声援を頂いた。

● 日本基督教団兵庫教区と在日大韓・西部地方会

「第31回日韓交流信徒大会」—2015年1月12日(月) 10:30~16:00、教団・神戸聖愛教会にて行われた。今回の信徒交流大会では金鐘賢牧師が説教、講演者として招かれ 金鐘賢牧師による「釜ヶ崎「愛の家」、ホームレス伝道の今」と題で講演し、ホームレスや貧しい隣人と共に生きるよう呼びかけた。講演の中で、信徒たちによるダンスと賛美があり、聴衆の皆さんから励ましの拍手を頂いた。

京都、兵庫の集会では席上献金を「愛の家」に支援金として送って下さった。

…ページ4のつづき

父も母も、両親が何歳まで生きていたかも知らない自分が、よくここまで生きてきたなと思います。祈る時にはいつも「天のお父さま、…」です。

これからも健康である事が長生きの秘訣であると思っています。今は好きだったパチンコやスロットも止めました。自分の生活を崩すような事をしたらダメだと思うからです。そして、人に迷惑をかけないような信仰生活を送りたいと思います。また教会には今でもたくさんの世話になっています。だからお祈りをしっかりして、御言葉に合う生活ができますように「天のお父さま」に願っています。そして、ありのまま生きていきます。

「愛の家」会計決算書(2014.4~2015.3)

収入	14予算	14. 4-15. 3	備考
定期後援会	800,000	755,100	94.4
一般後援会	1,900,000	2,348,052	123.6
クリスマス献金	1,000,000	906,585	90.7
食事献金	2,500,000	1,406,600	56.3
総会支援金	500,000	500,000	100.0
御米献金	360,000	310,800	86.3
小計	7,060,000	6,227,137	75.8
繰越金	873,882	873,882	
合計	7,933,882	7,101,019	89.5

支出	14予算	14. 4-15. 3	備考
事務・備品費	730,000	212,012	29.0
交通費	100,000	1,000	1.0
車両維持費	300,000	2,540	0.8
奉仕者支援金	1,500,000	1,560,000	104.0
研修費	150,000	29,000	19.3
御米代	1,000,000	616,310	61.6
副食費	2,900,000	2,765,779	95.4
修理施設費	50,000	0	0.0
会議費	30,000	8,910	29.7
愛の家建築積立金	800,000	500,000	62.5
救済費	50,000	0	0.0
予備費	323,882	30,000	9.3
小計	7,933,882	5,725,551	72.2
繰越金		1,375,468	
合計	7,933,882	7,101,019	89.5

「愛の家」建築会計決算書(2014.4~2015.3)

収入	14予算	14. 4-15. 3	備考
建築献金(国内)	2,000,000	674,260	33.7
建築献金(教会信徒)	4,000,000	3,037,838	75.9
アルミ集会献金	200,000	258,107	129.1
教会建築積立金	800,000	1,120,000	140.0
愛の家建築積立金	800,000	500,000	62.5
地方会支援金	600,000	600,000	100.0
受け取り利子	0	296	
小計	8,400,000	6,190,501	73.7
繰越金	2,374,918	2,374,918	100.0
合計	10,774,918	8,565,419	79.5

支出	14予算	14. 4-15. 3	備考
銀行融資返済金	9,000,000	4,072,594	45.3
リフォーム工事代	500,000	308,135	61.6
募金交通費	300,000	0	
諸経費	0	0	
福祉館会計貸出金	0	1,500,000	
予備費	974,918	0	
小計	10,774,918	5,880,729	54.6
繰越金		2,684,690	
合計	10,774,918	8,565,419	79.5

負債現況(2015年3月31日現在)

教会堂「愛の家」センター建築	
銀行融資金	7,844,000 円
(三菱東京UFJ銀行)	
合計	7,844,000 円



路上生活者支援のための 献金のお願ひ



主の復活・イースターを迎え、それを喜ぶように草木からは新しい命が芽生え、花々がいっせいに咲き出しました。

「愛の家」の活動を支援して下さる皆様におかれまし

ては、ますますご活躍のことと存じます。今年も皆様のご支援に支えられながら、冬の間行ってきた「愛の家」越冬支援活動も、3月末をもって無事に終了することができました。ご支援、ご協力ありがとうございました。長く寒い冬がすぎさり、温かい春を迎え、皆が無事に冬を越すことができ、共に春を迎えられたことを心から神様に感謝しております。

「愛の家」は、4月から2015年度の事業を開始いたします。2014年度の1年間、皆様からのご支援を賜り、週3～4回の集会と炊き出しを実施することができ、またさまざまな形で路上生活者への支援活動を行うことが出来たことを、心より感謝致します。皆様のご支援のお陰で西成釜ヶ崎地域において私達「愛の家」の炊き出しは「腹いっぱい食べられるし、一番旨い！」と言われております。私達は今年も路上生活者の皆さんと共に歩み、彼らに神様の愛を伝えるための働きをしていきたいと願っております。

最近、私達「愛の家」で奉仕をしたい、と訪ねてこられる方がいらっしゃいます。私達の活動が多くの人々に知られるようになり厚い信頼と評価を受け、また共に活動したい、という愛の輪が広まっているように感じます。私達はこれからも変わりなく「小さき者一人ひとりにしたことはイエス様にしたことである」とのイエス様の教えに従い、各々がその賜物をいかして神様の御用のために用いられたいと願っております。

私たち「愛の家」炊出しは週3回実施にしております。金曜炊出しには約150～200人が来られ、日曜礼拝や木曜集会にも約100人が来られます。

現在、毎週炊出し費用として57,000円が支出されています。

(お米100kg・30,000円、副食費27,000円、合計57,000円)

2014年度クリスマス献金には多くの支援者の皆様が協力して下さり心より感謝致します。

そして4月5日の主日はイエス様の復活をお祝いするイースターを迎えます。十字架の上でなくなった主が、私たちのために死に打ち勝ってくださったこの喜びの日。イエスの愛を、社会で一番苦しく貧しく生きている人、一人ひとりにもっともっと伝えたいと願っております。私たちの活動に皆様のますますのご理解、ご協力をいただきますよう、またイースター献金にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

「愛の家」事業：金曜炊き出し、木曜集会と食事、日曜礼拝と食事、散髪奉仕、共同生活、聖書勉強会、福祉相談、福祉館運営、冬季夜間パトロール、生活用品収集分配

◇ 定期、一般後援者募集

一般後援：1000円以上、 定期後援：毎月1000円以上

◇ 衣類、生活用品、食材、お米などの支援歓迎。

炊き出し時、路上生活者に配ります。

郵便振替： 00930-0-299392 在日大韓基督教会 浪速教会

送り先：〒557-0061 大阪市西成区北津守3-2-3浪速教会「愛の家」

Tel 06-6561-4712、6562-0109、Fax 6561-4709

E-mail:ainoie@msn.com ホームページ：www.ainoie.org

2015年4月



在日大韓基督教会 浪速教会「愛の家」

共同委員長 森田 幸男 牧師

共同委員長 李 清 一 牧師

総 務 金 鐘 賢 牧師

献金者お名前(敬称略・順不同)

(2014年11月～2015年3月)

◆ 定期後援金

大阪東南教会、グッド・サマリタン・チャーチ(石井洋二)、洲本チャペル(ジム&ラ・スナイプ)、長野教会(崔和植)、大阪北部教会女性会社会部、吉村俊郎・金景淑、金英姫、金鐘賢、古川富也、川島美恵子、大木正典、匿名

◆ 一般後援金

兵庫地区韓日信徒交流大会、関西地方会女性連合会、韓国教会女性連合会、大阪北教会、大邱忠誠教会池田教会、韓国女性会全国連合会、全国教会女性連合会、堺清水橋教会、姫路教会、布施教会青年会、武庫川教会聖歌隊、YWAM UDTs チーム、グッド・サマリタン・チャーチ、シオン合唱団、金正煥、伊藤房子、井上千代、河内常男、角野三雄、許清子、金英姫、金貴顕、金銀美、金鐘賢、金貞子、権ヨンニム、山住達樹、洲本チャペル(ジム&ラ・スナイプ)、徐栄、大原イズミ、中島禎二、田部郁彦、福井新、名古屋教会、有志、匿名

◆ クリスマス献金

京都韓日合同教会礼拝、洲本チャペル(ジム&ラ・スナイプ)、大阪東南教会、堺清水橋教会、オアシス教会、ホサナ教会、三宅禮子、山本覚、佐藤栄一、岩島斐子、崔スイル・権ヨウンイム、伊藤友彦、河内常男、許清子、久保安子、宮澤玲子、朴栄子、木村敏子、李順姫、崔愛蘭、島内敏子、澄川満喜子、申容燮、清水真一・佐代子、川上静子、村本瑛子、中村英雄、田部郁彦、つくば東京教会、平野教会、豊中第一教会、武庫川教会、武庫川教会女性会、布施教会、布施教会小学部、和歌山第一教会、京都教会、向上社保育園、広島教会、高槻伝道所、堺教会、博多教会、大阪教会女性会、大阪西成教会、神戸教会女性会、西宮弟子教会西部地方会女性連合会、川西教会、長野教会、関西韓国 YMCA、伊達教会、宇都宮松原教会、横須賀教会、横浜海岸教会、荻窪北教会、茅ヶ崎東教会婦人会、吉田教会教会と社会委員会、札幌桑園教会、小樽シオン教会、西宮中央教会、大阪姫松教会、大垣教会、滝川教会、長崎伝道所、苫小牧教会、南浦和教会、日土教会、柏木教会、福岡城南教会、名東教会、匿名

◆ 建築献金

平野竜一・真希、竹内清、大木正典、村本瑛子、申容燮・清水のぞみ、森元孝・金英姫、金正煥、金鐘賢・姜貞淑、金斗賢・金善栄、久保賢太郎、片本武三、山本覚、井上豊、宮澤玲子、森田幸男、韓国イス中央教会、韓国群山豊山教会、韓国釜山蓮堤第一教会、韓国井邑充滿教会、関西地方会、ハワイホノルル韓人教会、グット・サマリタン・チャーチ(洲本チャペル)、クミ市民教会、大邱忠誠教会、匿名

◆ お米、お米献金

グッド・サマリタン・チャーチ、京都教会女性会、金英姫元浦末浩、山本覚、洲本チャペル(ジム&ラ・スナイプ)小林 勝、石田玄三、田部郁彦、島内敏子、平野真希匿名

◆ 食材

布施教会、高槻伝道所、神戸教会、グッド・サマリタン・チャーチ、大阪北教会、久保賢太郎、崔愛蘭、六信みどり、清水真一、匿名

◆ 衣類、生活用品

グット・サマリタン・チャーチ、阿武山教会、泉大津オアシス教会、野津道代、川島美恵子、山本覚、匿名

「愛の家」センター 建築ニュース



大阪は桜が満開して皆が花見を楽しんでいます。満開した桜が咲いている街を歩くとやっと思い寒さから逃れた安心感で心が楽になります。

2007年12月、「愛の家」センター建築から今年で8年目を迎えます。当時5,000万円の借金を抱え私達は恐れおののき心配しましたが、今現在実際の借金が300万円になるところまで漕ぎ着きました。その間、募金に協力して下さった全国の支援者の皆さんに心より感謝致します。

今の見通しでは、私達浪速教会「愛の家」が掲げた2015年12月まで「愛の家」センター建築借金を完納する目標を無難に達成出来ると思います。

1年後には建築の借金の重荷がおろされ「愛の家」がますます熱意をもって路上生活者への宣教支援活動に取り組めるよう待ち望んでおります。

長年に渡って「愛の家」センター建築借金返済を見守りながら付き合ってきた皆さん、今年1年返済完納になるまでもう1年付き合ってくださいとお願い致します。

私共「愛の家」が、建築借金の返済を、無事に終了し、路上生活者への宣教支援活動に専念することが出来ますよう、建築献金へのご協力お願い致します。

「愛の家」建築負債現状(2015年3月31日現在)

負債	7,844,000 円
貸付金	1,500,000 円
＝残金	2,684,690 円
実際の負債	3,659,310 円

国内募金目標額: 300万円

- ①年1口5000円以上
- ②毎月1口1000円以上
- ③各教会、団体、組織別の建築献金
- ④遺産の寄付

発行責任者 金鐘賢・森優紀慶
発行所 「愛の家」広報部
〒557-0061 大阪市西成区北津守3-2-3
浪速教会「愛の家」内
TEL 06-6561-4712(教会)
FAX 06-6561-4709(教会)
E-mail: ainoie@msn.com
ホームページ: www.ainoie.org
郵便振替口座: 在日大韓基督教会浪速教会
00930-0-299392